

プログラミング能力検定

受験環境要件

1. 会場受験（オフライン受験）
2. 自宅受験（オンライン受験）

会場受験

(オフライン受験)



受験環境要件

プログラミング能力検定は PC や iPad を使用して受験いただきます。プログラミング能力検定（以下、検定）では下記の要件を満たす端末、ブラウザ、ネットワーク環境での受験を推奨しており、要件を満たさない環境では受験結果が保証されませんのでご注意ください。

4 機材

【PC の場合】

- ・ マウス ※必要に応じて
- ・ ヘッドフォン（任意） ※検定開始前に視聴する操作方法動画のため
- ・ 推奨環境

項目	推奨環境
バージョン	Windows 11 Mac OS 11～14 Chrome OS 最新版
CPU	Intel Core i5 2.2GHz 以上
メモリ	4GB 以上

- ・ 確認方法

（Windows の場合）

- ① デスクトップの[スタート]ボタンをクリック
- ② 「コンピュータ」を右クリック
- ③ 表示されたメニューから「プロパティ」をクリック
- ④ 「システム」のウィンドウから推奨環境と照らし合わせる

（Mac の場合）

- ① 左上の「アップルマーク」をクリック
- ② 「この Mac について」をクリック
- ③ 推奨環境と照らし合わせる

【iPad の場合】

- ・ 外付けキーボード ※検定システムへのログイン、及び実装式問題にて使用。
（外付けキーボード使用を強く推奨いたしますが、オンスクリーンキーボードのみでも回答可能です。）
- ・ ヘッドフォン（任意） ※検定開始前に視聴する操作方法動画のため
- ・ 推奨環境
 - ・ iPadOS16.0～18.0 対応
 - iPad（第 7 世代～第 10 世代）
 - iPadAir（第 3 世代～第 5 世代）
 - ※iPad mini は画面サイズの問題があり範囲外です

5 ブラウザ

【PC の場合】

- Google Chrome の最新版を使用する。

※Windows 11 のみ Microsoft Edge の最新版も使用可能とする。

- 機能制限によりアクセスできない場合があるので下記の手順にて設定を行う。

① chrome://settings/ にアクセスする。

② ページ左部の、「システム」をクリックし、画面中央部の

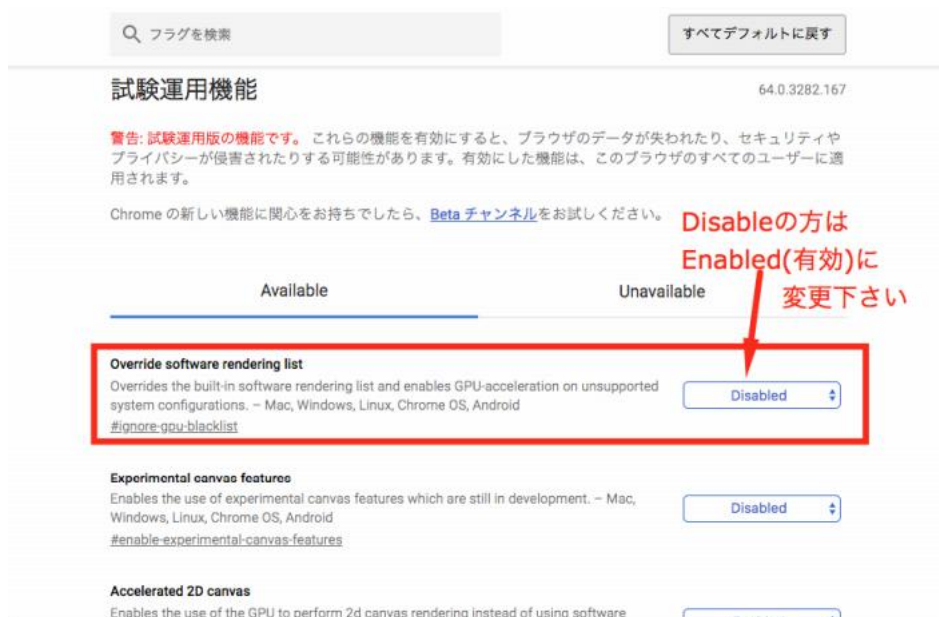
「グラフィックアクセラレーションが使用可能な場合は使用する」を ON にする。



③ 右上の×ボタンを押して一度 Chrome を閉じて、再起動する。

④ chrome://flags/ にアクセスする。

⑤ 上部にある、「Override software rendering list」を「Enabled (有効)」にする。



⑥右上の×ボタンを押して一度 Chrome を閉じて、再起動する。

【iPad の場合】

- ・ Safari の最新版を使用する。
- ・ プログラミング能力検定の受験サイト (<https://programming-testing.com>) にアクセスできるようにしておく。機能制限によってアクセスができない場合には下記の手順にて設定を行う。

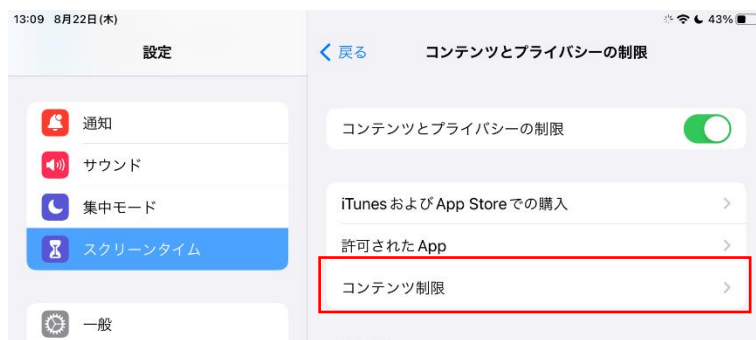
① 「設定」を選択する。



② 「一般」→「スクリーンタイム」→「コンテンツとプライバシーの制限」を選択する。



③ 「コンテンツ制限」を選択する。



④ 「Web コンテンツ」を選択する。



⑤ 「許可された Web サイト」を選択し、出てきた「Web サイト追加」を選択する。

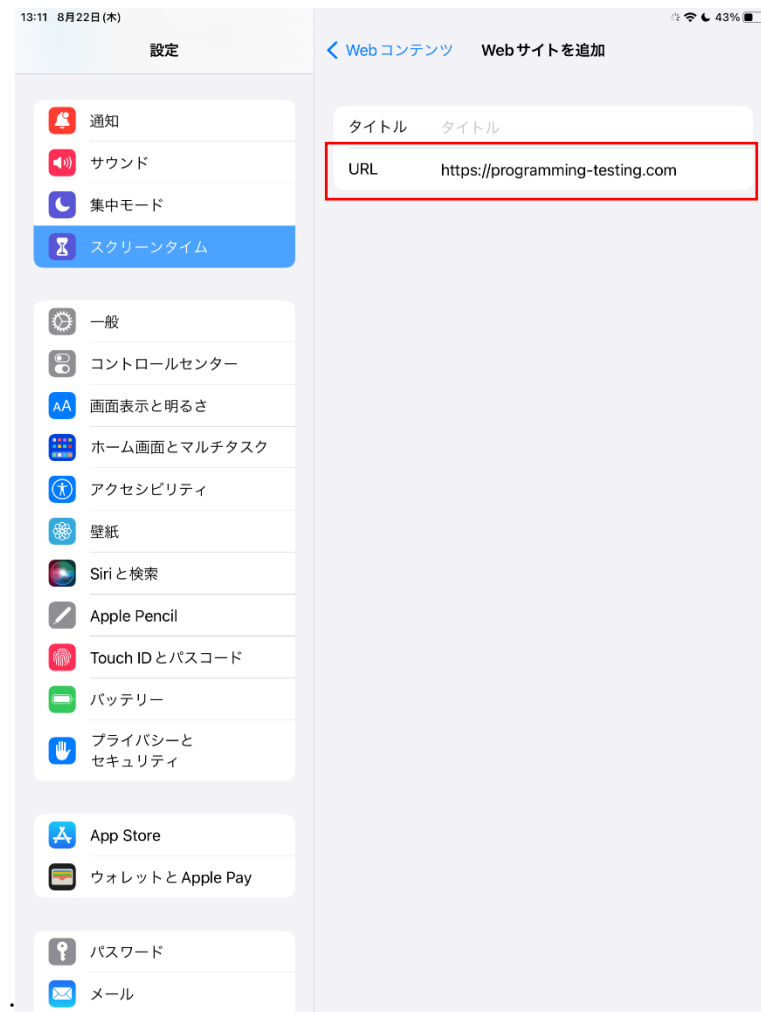


- ⑥ URL の欄にアクセスしたい WEB サイトの URL を記入し、「完了」を押す。

<プログラミング能力検定 受験用 URL>

<https://programming-testing.com>

※タイトルは空欄で問題ない。



6 キーボード

iPad 使用時のみ、別途外付けのキーボードを用意する。

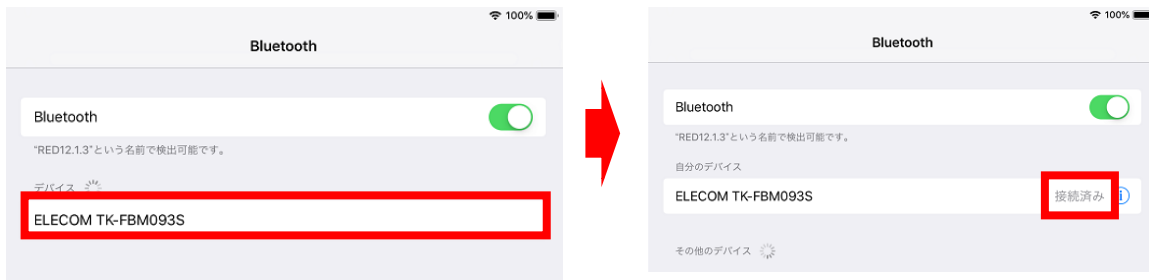
尚、外付けキーボードが「無線キーボード」の場合で、同時に複数の iPad を使用する際には、ペアリング（iPad とキーボードとの接続）時に注意が必要であるため、下記の手順を参考の事。

- ① ペアリングする iPad とキーボードの組み合わせが分かるように、予め iPad とキーボードにシール等を貼って区別しておく。
- ② iPad とキーボードをペアリングする時には、組となるキーボードだけ電源を入れるようにする。
※同じ型番のキーボードだと、iPad の画面からは組み合わせの区別がつかないため。

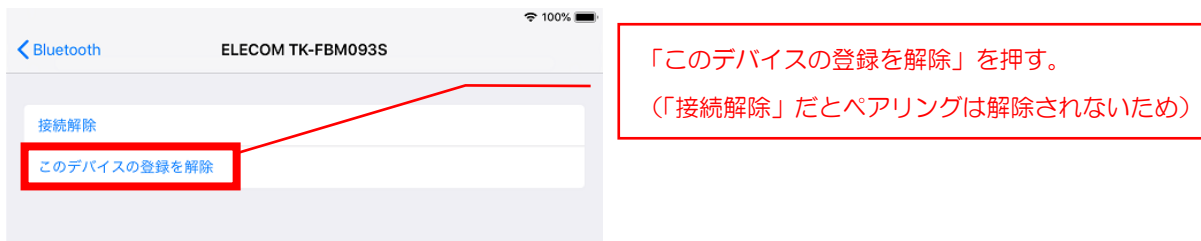


このように、同じ型番のキーボードが複数表示されているため、誤って違うキーボードがペアリングされてしまうことがある。

- ③ iPad の[設定]→[Bluetooth]をオンにする（上図のようにボタンが緑色になっていれば OK）。
- ④ キーボードの取扱説明書にしたがい、キーボードのペアリング機能をオンにする。
- ⑤ 下図のようにして、iPad とキーボードを接続する（下図のようになっていれば OK）。



- ⑥ キーボードが接続できたら、同様に他の iPad とキーボードのペアリングを行う。
その際も、複数の組み合わせを同時に行わないように注意する。
- ※ もし、途中で誤って組み合わせの違う iPad とキーボードをペアリングしてしまった場合は下図のように解除を行う。



- ※ ペアリングしたキーボードは、「電源を切らずに」保管する。
電源が切れた場合には、再度設定をする必要がある。

7 ネットワーク環境

Wifi 20Mbps 以上推奨。

キャリアに記載されている通信速度ではなく、実際に対象環境下で測ったネットワークスピードや、実際に検定システムを動作させたときの状況を元にご判断されることを推奨。

■スピード検証 URL → <https://www.google.com/search?q=speedtest>

※ 「速度テストを実行」ボタンを押し、「ダウンロード」「アップロード」において 20Mbps 以上のスピードが出るかを確認。

▼注意事項

- ・wi-fi の新規契約時に「100Mbps」と表記されていても、その数字はベストエフォート型（想定 of 最大通信速度）のため、常に一定の速度を保証することはできない。
- ・同回線でもプロバイダーが違うだけでスピードが変わる可能性がある。
（プロバイダーを問わず、現在接続している環境の近くに同一プロバイダーに接続しているユーザーが多いと回線が混雑しスピードが遅くなる可能性がある）

自宅受験

(オンライン受験)

1 オンライン受験環境要件とは

ここでは検定のオンライン受験に際して受験者に必要なネットワークや PC の環境要件について記載いたします。ネットワークや PC のスペックが起因したトラブルについては受験結果の保障はできかねます。必ずご確認くださいとともに、受験者は次の環境を整備してください。

2 PC

項目	詳細
対応 OS	WindowsOS : 11 MacOS : 12～ ※ただし、画面共有設定が不要な Windows を推奨
機種	Windows : 2019 年以降発売の Core i5 以上 (Ryzen 5 以上) のプロセッサを搭載した機種 Mac : 2018 年以降発売の機種 (ただし Macbook Air のみ 2020 年以降)
メモリ	8GB 以上
その他	・カメラ付きであること (外付けカメラを利用される場合は必ず受験端末の画面枠外上部に設置すること) ・マウスは必要に応じて外付けのものを使用して構わないものとする
具体例	Windows : HP Pavilion 15 (Core i5 / Ryzen 5, 2019～) ・ Dell Inspiron 14 / 15 5000 シリーズ (Core i5 / Ryzen 5, 2020～) など Mac : MacBook Air (M1, 2020) ・ MacBook Pro 13" (M1, 2020) など

※イヤホンやヘッドフォンの使用は原則禁止のため、特別な事情がある場合は試験監督及び会場を通じて当協会へ事前の問合せが必要である

・ PC スペック詳細確認方法

(Windows の場合)

- 1 デスクトップの[スタート]ボタンを右クリック
- 2 表示されたメニューから「システム」をクリック
- 3 推奨環境と照らし合わせる

(Mac の場合)

- 1 左上の「アップルマーク」をクリック
- 2 「この Mac について」をクリック
- 3 推奨環境と照らし合わせる

3 ブラウザ

Google Chrome のみ使用可能とする。

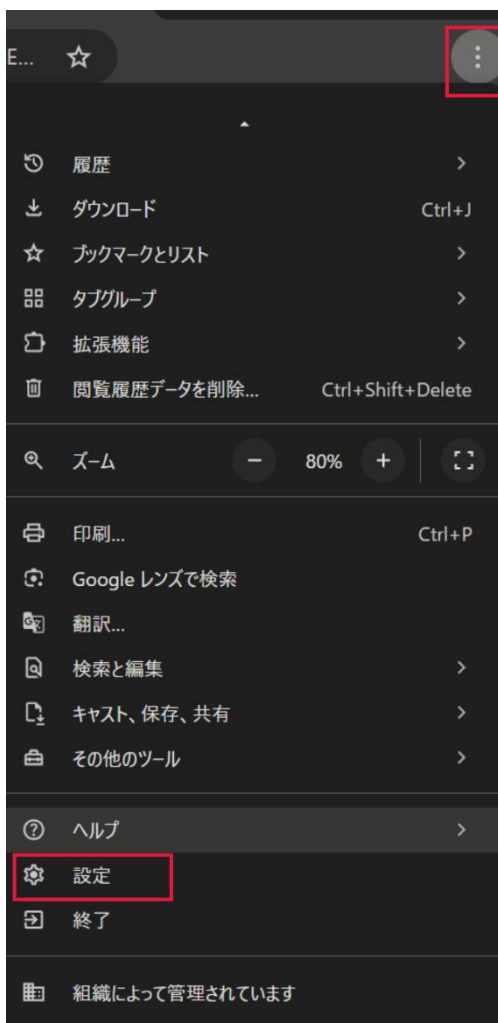
※必ず最新版を使用すること。

※Safari や Microsoft Edge 等の他のブラウザを使用し、何らかのトラブルが発生した場合、当協会は受験結果に関する一切の保障ができかねるものとする。

※拡張機能により検定受験や画面共有時にトラブルが発生する恐れがあるため、シークレットウィンドウでの実施を【必須】とする。

機能制限によりアクセスできない場合があるので下記の手順にて設定を行う。

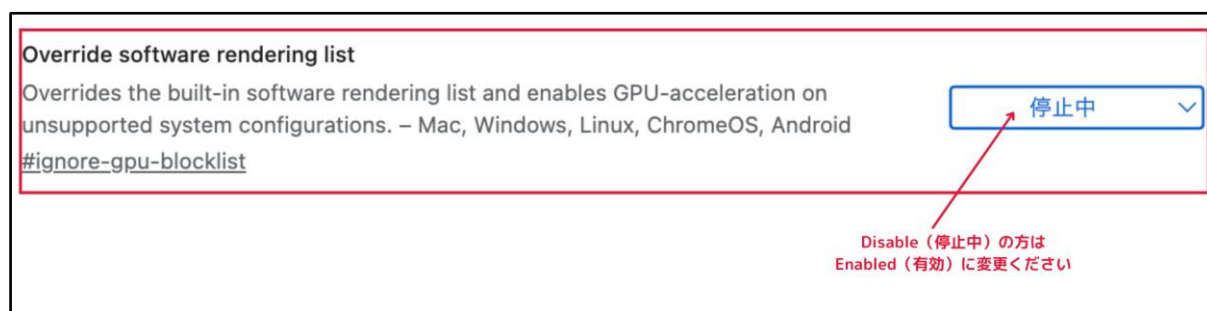
- ① Google Chrome の左上より、設定画面にアクセスする。もしくは「chrome://settings/」をコピーし、Google Chrome の検索バーに直接ペーストする。



- ② ページ左部の、「システム」をクリックし、画面中央部の「グラフィックアクセラレーションが使用可能な場合は使用する」を ON にする。



- ③ 右上の×ボタンを押して一度 Google Chrome を閉じて、再起動する。
④ 「chrome://flags/」をコピーし Google Chrome の検索バーにペーストする。
⑤ 上部にある、「Override software rendering list」を「Enabled(有効)」にする。



- ⑥ 右上の×ボタンを押して一度 Chrome を閉じて、再起動する。

4 ネットワーク環境

「上り 20Mbps」「下り 50Mbps」以上を推奨する。

キャリアに記載されている通信速度ではなく、実際に対象環境下で測ったネットワークスピードや、実際に検定システムを動作させたときの状況を元に判断されることを推奨する。

■ スピード検証 URL → <https://www.google.com/search?q=speedtest>

※「速度テストを実行」ボタンを押し、「ダウンロード」「アップロード」において 上記記載の以上のスピードが出るかを確認する。

▼ 注意事項

- ・ wi-fi の新規契約時に「100Mbps」と表記されていても、その数字はベストエフォート型(想定 of 最大通信速度)のため、常に一定の速度を保証するものではないこと。
- ・ 同回線でもプロバイダーが違っただけでスピードが変わる可能性がある。(プロバイダーを問わず、現在接続している環境の近くに同一プロバイダーに接続しているユーザーが多いと回線が混雑しスピードが遅くなる可能性がある)